

令和3年第6回 定例会 蓮田市教育委員会会議録

| | | | | | | |
|----------------|--|------|-------------|----|------|----|
| 招集年月日 | 令和3年6月25日 | 開会場所 | 蓮田市役所201会議室 | | | |
| 開会の日時 及び宣告者 | 令和3年6月25日 午前9時30分 教育長 西山通夫 | | | | | |
| 教育長 | 蓮田市教育委員会教育長 西山通夫 | | | | | |
| 招集状況 及び出席状況 | 席次 | 氏名 | 備考 | 席次 | 氏名 | 備考 |
| | 1 | 西山通夫 | 出席 | 4 | 塚本聖子 | 出席 |
| | 2 | 飯野和之 | 出席 | 5 | 渡邊陽子 | 出席 |
| | 3 | 増田孝 | 出席 | 書記 | 加藤弘之 | |
| 議事参与者 | <p>学校教育部長 増田勝弘</p> <p>生涯学習部長 新井宏典</p> <p>生涯学習部次長兼保育課長 田中和之</p> <p>生涯学習部次長 兼社会教育課長兼中央公民館長 小宮雪晴</p> <p>教育総務課長 鈴木聖雄</p> <p>学校教育課長 高月章浩</p> <p>子ども支援課長 坂口洋子</p> <p>文化スポーツ課長 兼総合市民体育館長兼総合文化会館長 小野寺潤</p> <p>図書館長 下之園友子</p> | | | | | |
| 傍聴者 | 2名 | | | | | |

会議の進行状況・顛末

開 議 令和 3年 6月25日 午前9時30分

西山教育長、開会を宣言する。

西山教育長の命により塚本委員、渡邊委員 前回会議録（第5回定例会）に署名する。

教育長の報告

西山教育長から、以下の報告がなされた。

1. 長欠児童・生徒数について
2. 議会一般質問の内容について
3. 学校管理訪問の様子について
4. 蓮田市の未来を語る子ども議会について
5. 放射線の測定値について
6. その他

各部長及び教育総務課長並びに学校教育課長から、市議会一般質問の答弁内容について報告がなされた。

報告事項についての質疑

飯野委員 民間委託の水泳授業が始まっていると思いますが、現状とこれからの方向性を教えてください。また、学校のプールと異なり温水プールだと思うので、夏に限定しなくても水泳の授業はできるのではないのでしょうか。

西山教育長 民間委託については、現在黒浜中学校で㈱大宮教育センターさんをお願いし実施しています。生徒からは好評です。当初導入に否定的だった先生も、実際に授業が始まると肯定的な考えに変わってきました。スイミングスクールでは着衣による水泳指導も対応できると聞いております。スイミングスクールまでの移動時間はかかりますが、もともと学校プールでの水泳授業でも、着替えの時間も含むと1時間の授業のうち水に入っている時間はそれほど多くはありませんでした。スイミングスクールでの水泳授業は2時間連続で行いますので、着替えの時間は集約でき、移動時間の確保はできています。

当面は少しずつ増やしていき、将来的には13校全部導入できれば理想的だと思っています。なお、既存の学校プールについては、委託が進んでも解体せず防火水槽として利用する予定です。対象校を増やした場合の課題は受け皿です。近隣の市も委託に前向きだと聞いておりますので、お願いできる事業者の確保が難しくなるかもしれません。

夏以外にも水泳の授業を、というのは私も同じ意見で、あまり寒い時期は避けるにしても、早い時期から開始して長い期間にわたって実施するようにすれば、今後対象校を増やした時のスイミングスクールの受け皿の問題も緩和されると思います。

飯野委員 部活動の外部指導員については、先生方の負担も減るし、部活動について専門的に指導できるというメリットがあります。ただ、その人材が確保できるのか、市内各校に満遍なく外部指導員が入れるのだろうかと思います。例えば、部活動を学校単位ではなく競技単位で活動していくような可能性はあるのでしょうか。

西山教育長 部活動外部指導員が導入されるまで10年以上かかりました。かつてのよう

に、部活動で選手を育成するという時代はもう終わったと思います。国の補助金もありますし、働き方改革の流れもあります。これからは、子供たちの運動の基礎は体育の授業で行い、それ以外の専門的な運動は学校から切り離して外部の団体でやるという動きが主流になってくるでしょう。そこまでさらに10年以上かかるとは思いますが、その体制を今のうちから作っておかないと、と思っています。

人材確保については、リ・ボーンはすださんのような総合型地域スポーツクラブから外部指導員の派遣をしていただくのも一つの方法かと思っています。そういう団体が二つか三つできてくれば可能だろうなと思っています。他に担い手としては、退職した教員の中にも部活動の指導をやりたい人がいますし、体育大学等を卒業した人も少なくありません。日本ではボランティアって言うとなだでやるものだと思われていますが、外国はボランティアもお金をもらって活動しています。労働の対価としての報酬ではないけれども、謝金をボランティアの方にお支払いしてお願いしていく形になっていくのではないかと考えております。

もう一つは御指摘のとおり、拠点校方式を検討していかななくてはならないと思っています。構想としては、例えば30分は各学校で部活をやる。それ以上専門的に活動したい場合は、サッカーはこの学校、野球はこの学校といった形で、やりたい競技の部活がある学校へ行って練習する。大会もその学校から出場する。出場にあたっては一時的に転籍し、大会が終わったらまた元の学校に戻るといった形をとる。中体連では在籍年数によって出場を制限するようなルールはありませんので、昨日転籍してきた子も試合に出られます。

市内で一つの学校に集まって練習すれば、切磋琢磨できるし、いい指導者から教えてもらうこともできます。また、小規模校が大規模校と試合する場合、どうしても格差が出てしまうことは否めないのですが、拠点校方式であればその点も緩和されます。これが実現できるという方式だと思いますし、他の地域にも波及していくと思います。かなり時間はかかるでしょうが、私の実現させたい夢の一つです。

渡邊委員 今の子は、高校に入ると早々に理系・文系いずれに進むか決めなくてはなりません。私達の頃はもうちょっと考える時間がありましたが、今の子たちは早く理系か文系かを決めて将来のことをちゃんと考えていかないといけない時代なんだと最近痛感しました。その際、キャリアパスポートの取組が生きてくるのだと思います。インターネットとかで子供たちも自由に調べられる環境がありますが、やっぱり本とかでじっくりと自分に向き合う時間もすごく大事なんじゃないかなと思います。市内の学校を訪問させていただいたときに、学校によって図書室に差があるのが気になりました。キャリア教育に関連した蔵書がちょっと少ない学校もあったように思いますので、その辺を少し改善していただけたらと思います。

西山教育長 図書室の方からお話すると、当初予算が毎年同額しかいただけていないので、昨年度も補正予算で増額をお願いしたところ増やしていただきました。非常にありがたいことだと思っています。

キャリア教育に有用な図書としては、「なるにはBOOKS」シリーズのような職業案内の本を全校に配置できるように動いているところです。

もう一つ、キャリアパスポートについてですが、本市は全県の中でも早々に取りかかりましたので体制がきちんと整っていますし、先生方は一生懸命取り組んでいます。渡邊委員がおっしゃったように、このキャリアパスポートは自分の人生をきちんと考えて設計していくうえで非常に大切なものだと思っています。

鈴木課長 本日の議事に関しましては、非公開とする案件はございませんので、報告第14号及び報告第15号は公開で行いたいと思いますが、いかがでしょうか。

全委員承認

議 事

西山教育長、報告第14号「蓮田市放課後子ども教室実施要綱の一部改正について」を報告する。

小宮次長、朗読及び報告理由の趣旨説明を行う。

西山教育長、報告第15号「教育委員会所管に係る令和3年度蓮田市一般会計補正予算（第3号）について」を報告する。

坂口課長、朗読及び報告理由の趣旨説明を行う。

各所管課長から、概要説明がなされた。

西山教育長の閉会宣言で第6回定例会は閉会となった。

閉議 午前11時29分

会議終了後、中学校用教科用図書採択について協議した。